

あすなろ新聞

第124号

令和7年7月18日
群馬大学共同教育学部
附属特別支援学校

入学おめでとう



校長 城田 謙司

このたび、十二年ぶりに校長として、附属特別支援学校に着任いたしました。その当時から、PTAの皆様の温かい御支援には大変感銘を受けておりました。再び皆様とともに、子どもたちの笑顔あふれる学校づくりに携われることを大変光栄に思います。

十二年ぶりに着任し、当時本校に在籍していた卒業生に出会う機会が何度かありました。将来は、パンの仕事をしたいと願っていたAさんが、今は立派な青年となり、時折パン販売のために学校に訪れる姿に触れ、とてもうれしくなりました。また、学校時代に味わった運動の楽しさをもち続け、卒業後は、地域の運動サークルに参加し、今は地域のひととのふれあいを楽しみながら生活している卒業生もいました。このような卒業生の姿に触れ、ふと、本校でいま学んでいる子どもたちは、十年後、二十年後に、自分らしさを発揮し、豊かな生活を

築いていけるような力を身に付けていけるだろうか。と自問自答することがありました。本校で学んでいる子どもたちが、もっている力を一杯発揮して、豊かな生活を切り拓いている、そんな学びがある学校でありたいと思います。新たにしているところです。

本校の教育目標は、「健康で人と調和でき、自分から豊かな生活を築いていく能力を身に付け、よりよい自立と社会参加ができる児童生徒を育成する」です。子ども自身がこんなことを学びたい、あんなことに挑戦したいといった気持ちを持って、課題や活動に取り組んでいくような、子どもたちの主体性を伸ばすことを目指していきたいと思えます。

加えて、子どもたちが近隣の学校や地域の方々といった多くのひととの関わりの中で、自分の役割を感じたり、自分のよさに気づけたりできるよう、交流及び共同学習の充実も図っていききたいと考えております。

どうか、本年度も本校に幅広く深く関心をもっていたいただき、御理解・御協力くださいますようお願い申し上げます。

新入生保護者より

小学部新入生保護者 舟木 彩乃

私の息子は言葉の遅れがあり、現在でも言葉のみの意思疎通はスムーズにいきません。こども園では遊びを中心とし、問題なく過ごせていましたが、学校という学びの場で、集団の中で過ごしていけるのか、不安に思っておりました。しかし、先生方が温かく一つ一つの作業を丁寧に教え、接して下さることで、安心して学校生活を送ることができています。学校生活を通じて、スモールステップを積み重ね、大きな成長となっていけるように願っております。

中学部新入生保護者 新井 麻美

期待と不安を胸に臨んだ入学式から二ヶ月が経ち、本人も環境の違いに戸惑いながらも一つずつできることが増え、毎日笑顔で通っています。これも温かく支えてくださった先生方、先輩方、クラスメイト、保護者の皆様のおかげと心より感謝しています。これからも悩んだり、つまずいたりすることもあるかと思いますが、将来の就労に向け、一歩ずつ成長していけるよう、親子共々頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高等部新入生保護者 川島 康弘

高等部へ入学し、二ヶ月が経過し学校生活にも慣れ、高等部生としての自覚も出てきたようです。先生方に多大なご指導やサポートをしていただいていることで、日々成長していることが感じられています。これからも多くのことを学び・挑戦して、この体験や経験を就労に向けて役立てていってほしいと思っています。五月には校内外実習が実施され、緊張の中、様々な経験ができ、今後のさらなる成長を期待しています。先生方、保護者の皆様、今後ともよろしくをお願いいたします。



教職員紹介 お世話になります！

先生にインタビュー
ドラえもん お願い！
〇〇なひみつ道具出して！



養護教諭

星野 愛琳
(ほしの あいり)

『かるがる手袋』
健康器具の準備や模様替え



教務主任

真下 和将
(ましも かずまさ)

『コピーロボット』
代わりに仕事をお願いします！



教頭

草処 和江
(くさどころ かずえ)

『タケコプター』
空を飛びたい！



校長

城田 謙司
(しろた けんじ)

『タケコプター』
晴れた日に、気持ちよく通勤したい



小学部
1組担任

長田 紗綾
(おさだ さや)

『畑のレストラン』
カブの中から出てくる食べものを食べてみたいです



小学部
1組担任

須藤 也子
(すとう やこ)

『ビッグライト』
特大雪見だいふくを作って食べる



小学部
1組担任

武井 香織
(たけい かおり)

『貸し切りチップ』
旅行で使いたい！



小学部
校内部主事

小越 薫子
(こごし ゆきこ)

『もしもボックス』
いっぱい食べても太らない世界に行く



小学部
3組担任

矢野 修平
(やの しゅうへい)

『ムリヤリトレパン』
フルマラソン走り切ってみたい！



小学部
3組担任

猪浦 彩夏
(いのうら あやか)

『自動販売タイムマシン』
昔のディズニーグッズを買います！



小学部
2組担任

竹渕 輝昭
(たけぶち てるあき)

『宇宙カプセル』
猛暑でも快適に過ごせる！



小学部
2組担任

山崎 真由
(やまざき まゆ)

『チーターローション』
山を速く走りたい！



中学部
校内部主事

金子 芽衣
(かねこ めい)

『どこでもドア』
早く家に帰るため



小学部
学部職員

斎藤 駿佑
(さいとう しゅんすけ)

『桃太郎印のきびだんご』
うさぎを肩に乗せてみたい



小学部
学部職員

岩崎 律子
(いわさき りつこ)

『グルメテーブルかけ』
炊事を休みたい時に



小学部
学部職員

新津明日香
(にいつ あすか)

『味見スプーン』
スイーツいっぱい味見したい



中学部
2組担任

小林 弥生
(こばやし やいひ)

『エラチューブ』
綺麗な海を散策する！



中学部
2組担任

高橋 初穂
(たかはし はつほ)

『タケコプター』
飛んで出掛けられる！



中学部
1組担任

河内 英恵
(かわうち はなえ)

『ほんやくこんにゃく』
世界中の人と話せるから



中学部
1組担任

島田 大樹
(しまだ たいき)

『もしもボックス』
いろんな世界に行ってみたい



中学部
研究主任

上坂美香子
(うえさか みかこ)

『ほんやくこんにゃく』
動物の話を聞いてみたい



中学部
学部職員

油井原成美
(ゆいはら なるみ)

『天の川鉄道乗車券 地球発ハテ/星行き』
星空を旅してみたい



中学部
3組担任

本田 寛之
(ほんだ ひろゆき)

『どこでもドア』
好きな時に好きな場所へ行く



中学部
3組担任

小須田朱里
(こすだ あかり)

『わすれ鳥』
忘れ物しそうな時に教えてほしい



高等部
1組担任

小倉 彩
(おくら あや)

『グルメテーブルかけ』
好きなもの食べ放題！



高等部
1組担任

小泉龍之介
(こいずみ りゅうのすけ)

『プロテイン』
筋肉が欲しいから



高等部
1組担任

酒井 莉紗
(さかい りさ)

『時間ナガナガ光線』
楽しいことを長く感じたい！



高等部
校内部主事

小島 靖弘
(こじま やすひろ)

『四次元ポケット』
これがあれば無敵

就業体験の様子

校内実習

中学部は10日間、高等部は12日間の校内実習を行いました。作業所では、ステープラー針の箱詰め作業、モチーナ組み、ボールペンの組み立て、リサイクル作業、シュレッダー作業に取り組みました。工場では、せんべい用化粧箱折りに取り組みました。生徒たちは、丁寧に資材を扱い、作業の手順を確かめ、集中して作業に向き合いました。

それぞれの生徒が、自分の課題を捉えて、自分で決めた目標の達成に向けて最後まで取り組むことができました。

頑張ったことや達成して得た充実感を次の就業体験に繋がられるように、今後も支援をしていきます。

(島田 大樹)



校外実習

高等部では、第1回就業体験の一環として、校外での実習を行いました。

この実習は、卒業後も継続して取り組める作業種や、生徒が安心して落ち着いて過ごせる事業所を見付けることを目的としています。

実際の職場環境での経験を通じて、生徒一人ひとりの得意なことや、今後の課題が見えてきました。今回の実習で得られた成果をさらに伸ばし、見つかった課題を学校生活の中で解決していけるよう、今後も丁寧に支援してまいります。

(和田 拓)



晃太さんの生活

卒業生保護者 平井 美幸

卒業後、三月中は放課後デイを利用しながらのんびり過ごし、四月からあかぎの響のすずろへ通い始めました。

在学中の校外実習で落ち着いて過ごす事ができ、作業も晃太にとって難しい内容では無く、何より自宅から近い事や送迎時間などを考慮しこちらに決めました。

朝は自宅まで迎えに来ていただき、登所後は荷物の片付け等を自発的にやっているようで、在学中に先生方に取り組んでいた事が本人の力として発揮されています。

午前中は戸外散歩や室内で体操やストレッチを行い、しっかりと身体を動かす時間が確保されている事もすずしろを選んだ理由の一つです。

午後の作業時間は少人数で部屋が分かれており、同じ班のみんなと一緒に落ち着いて作業ができています。

班は利用者六名前後に対応



晃太さんの日課

- 7:00 起床
朝食・洗面・準備
- 8:20 バス乗車(自宅前)
- 9:00 活動準備
- 9:45 朝礼・ラジオ体操
- 10:00 午前活動
(戸外散歩・室内ストレッチ)
- 11:25 休息
- 12:00 昼食
- 12:30 歯磨き・休憩
- 13:00 午後活動(作業)
- 14:30 清掃
- 14:50 終礼・日中一時利用
- 18:30 帰宅
- 19:00 夕食・入浴など
- 22:00 就寝

して職員の方が三〜四名いてくれるので、学校とさほど変わらぬ規模感と手厚さにとても安心感があります。短時間ですが、十四時まで集中して作業をし十五時に送りの車が出発、晃太は日中一時を利用する為、十八時までパズルなどをしながらのんびり過ごしているようです。

十八時半頃に帰宅し、夕食や入浴等を済ませ二十二時過ぎに就寝と学生時代と変わらぬ生活サイクルで過ごせている事も、環境が変わっても落ち着いて過ごせている理由なのだと思います。

最後に、高校生になり卒業後の進路に迷われている方もいると思います。子どもの進路を親が選ぶという事は心理的に相当な負担があるかもしれませんが、まずはお子さんの状態をしっかり把握し、先生方や支援員さん等に相談しながら本人が無理なく通える場所をじっくり選んであげてください。



あすなろ新聞124号発行にあたり、ご協力いただきありがとうございます。今回は子ども達にも分かりやすいように、「ドラえもんに出してもらいたいひみつ道具」を先生方にお答えいただきました。お子さんとの会話のきっかけに少しでもなれたら嬉しいです。今年1年、皆さんに楽しく読んでいただけるような紙面作りを広報部一同頑張ります。次号もお楽しみに!!

(広報部 引田美希)